

<プログラム>

発表：20分 質疑応答：10分

12月5日(木)

13:00 ~ 13:10 オープニング・趣旨説明

第1セッション (13:10 ~ 15:10)

13:10 ~ 13:40 水-NAPL-空気三相系の浸透現象と地盤汚染のシミュレーション

菊本統 (横浜国立大学)

13:40 ~ 14:10 砕波の流体力学

渡部靖憲 (北海道大学)

14:10 ~ 14:40 SPH法に関する基礎的研究

竹山智英 (東京工業大学)

14:40 ~ 15:10 動的津波力による構造物の破壊解析

田中聖三 (東京大学)

15:10 ~ 15:30 休憩

第2セッション (15:30 ~ 17:30)

15:30 ~ 16:00 カーボンナノチューブの力学とモデリング

佐藤太裕 (北海道大学)

16:00 ~ 16:30 羽田D滑走路建設工事に適用した弾粘塑性FEM解析

大野進太郎 (鹿島建設)

16:30 ~ 17:00 異形鉄筋周辺の3次元内部ひび割れ進展解析

車谷麻緒 (茨城大学)

17:00 ~ 17:30 有限変形弾塑性構成式

山川優樹 (東北大学)

12月6日(金)

第3セッション (9:00 ~ 10:30)

9:00 ~ 9:30 土の流亡を予測する～浸透破壊の先へ～

藤澤和謙 (京都大学)

9:30 ~ 10:00 マクロエレメント法を用いたバーチカルドレーン工法の数値シミュレーション

山田正太郎 (名古屋大学)

10:00 ~ 10:30 津波防災・減災に向けた粒子法シミュレーションの活用事例

浅井光輝 (九州大学)

10:30 ~ 10:45 休憩

第4セッション (10:45 ~ 12:15)

10:45 ~ 11:15 鋼の組織因子に基づく脆性破壊発生予測モデル

柴沼一樹 (東京大学)

11:15 ~ 11:45 砂地盤と粘土地盤の振動特性

中井健太郎 (名古屋大学)

11:45 ~ 12:15 速度依存性摩擦モデルを用いたスティックスリップ運動の有限要素解析

尾崎伸吾 (横浜国立大学)

12:15 ~ 13:15 昼休憩

第5セッション (13:15 ~ 14:45)

13:15 ~ 13:45 変分法を用いた非ニュートン流体の数値解析

西藤潤 (京都大学)

13:45 ~ 14:15 構造最適化の紹介とマルチスケール解析を使った材料マイクロ組織の最適化

加藤準治 (東北大学)

14:15 ~ 14:45 不連続変形法 (DDA), マニフォールド法 (NMM) の各種岩盤工学問題への適用

小山倫史 (京都大学)

14:45 ~ 15:00 休憩

第6セッション (15:00 ~ 17:00)

15:00 ~ 15:30 福島第一原発からの放射性核種の沿岸海洋拡散再解析

内山雄介 (神戸大学)

15:30 ~ 16:00 安定化有限要素法を用いた自由表面流れ解析

高瀬慎介 (東北大学)

16:00 ~ 16:30 高剛性補強路床の力学性能の評価

橘伸也 (埼玉大学)

16:30 ~ 17:00 個別要素法を用いた落石リスクの統計的評価

森口周二 (東北大学)
